

授業科目名	国語総合		単位数	5 単位	学年	1
使用教科書	明解国語総合（三省堂）		副教材等	級別漢字学習 4～2 級（とうほう） 読んで見て覚える重要古文単語 3 1 5（桐原書店） 完全傍訳やさしく詳しい古典文法 （尚文出版）		
○学習の到達目標 ①国語を的確に理解し、適切に表現する基本的な能力を身につける。 ②様々な文章に触れ、思考力を伸ばし心情を豊かにする。 ③古文と漢文を読む基本的な能力を身につける。 ④言語文化に対する関心を深め伝え合う力を高めるとともに、国語を尊重しその向上を図る。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学 期	4	1 学期中間考査	負け方を習得する	・中学時代の復習をかねつつ、高校生として新しい学習方法や指導レベルに慣れさせ、新たな学習目標を持たせる。 ・これまでの古文学習の復習、基礎を身につける。		
	5		児のそら寝	・主人公の心情を丁寧に読みといていく力をつける。 ・登場人物、場面や状況を的確に読み取る力を養う。		
	6		とんかつ	・文法や単語など基礎を身につけながら、口語訳できる力を養う。		
	7		1 学期期末考査	馬と犬とのこと	・対比法など評論文の論旨展開、読解について学ぶ。	
2 学 期	9	2 学期中間考査	魚は陸から離れられない 徒然草	・これまでの学習を活かして、内容を読み取り、心情変化や場面の状況を読み取る。		
	10		詩三編	・日本語の美しさを意識し、詩のテーマを読み取る。		
	11		漢文入門	・漢文の基礎基本を学ぶ。		
	12		2 学期期末考査	ツゴイネルワイゼン バスに乗って	・より複雑な心理描写を読み解く力を養う。 ・状況描写などから、登場人物の心情を推察する力をつけさせる。	
3 学 期	1	学年末考査	水の東西 和歌 漢詩	・評論文の読解力を高め、東西比較文化論を学ぶ。 ・修辞法などを学び、内容を読み取る。 ・漢詩の句法などを学習し、内容を読み取る力をつける。		
	2		羅生門	・1 年生での学びのまとめとして、読解力や語彙力の確認を行う。		
	3					
○評価方法 ①授業態度…教材の準備状況・出席状況・授業への取り組みの姿勢・ノートの状況。 ②提出物…課題等の提出状況 ③定期考査…各学期に実施する考査の成績。また、課題テストの成績も含む。						

授業科目名	世界史 A		単位数	2 単位	学年	1
使用教科書	世界の歴史（山川出版社）		副教材等	プロムナード世界史 （浜島書店）		
○学習の到達目標						
<p>1、近現代史を中心に多角的に考察する事で歴史的思考力を培い、人類の課題を考察する。</p> <p>2、世界史をわが国の歴史と関連づけながら理解することで、日本人としての自覚と資質を養い、国際社会で主体的に生きる力を培う。</p>						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学 期	4	第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明 東アジア世界	教科書 資料集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパの各地域世界の形成と発展、特徴を理解する。 ・各地域世界の境界をこえて、人やモノ、文化が互いにどのように往来し、交流しあっていたかを把握する ・それぞれの風土で独自の世界を発達させてきた地域世界が大航海時代をむかえ、一体化していく過程を理解する。 		
	5	南アジア・東南アジア世界 1学期中間考査				
	6	西アジア世界・ヨーロッパ世界				
	7	1学期期末考査				
	9	第2章 世界の一体化のはじまり 明・清・西アジア・インド 大航海・ルネサンス・宗教改革 2学期中間考査				
10	スペイン・オランダ・絶対王政 東ヨーロッパの専制・大西洋経済 第3章 近代の世界					
11	汎大西洋革命・ナポレオン・産業革命 ウィーン体制・1848年					
12	2学期期末考査 クリミア戦争・イタリアドイツ統一 合衆国・ラテンアメリカ・19世紀アジア					
3 学 期	1	第2部地球社会と日本 第1章 急変する人類社会 資本主義・大衆社会・国民統合	教科書 資料集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の時代の欧米列強による世界分割が、やがては世界大戦を引き起こしたことを理解する。一体化が進む世界で、先進工業国が繰り広げられた覇権争いから、二つの世界大戦が起こったことを、理解する。 ・冷戦構造と、植民地の独立を軸に、第二次世界大戦後の国際秩序の構築過程と、現代世界の課題を理解する。 		
	2	第2章 帝国主義時代				
	3	第3章二つの世界大戦				
		第4章平和と冷戦 学年末考査				
		第5章現代世界と日本				
○評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・考査ごとに、考査の素点（7割）、平常点（3割）で総合的に評価する。 ・平常点は、授業に対する態度・関心、提出物（板書ノート、訂正ノート、課題プリントなど）などを総合して評価する。 ・1学期・2学期の成績は、各学期の中間考査・期末考査を相加平均する。 ・学年総合成績は、各学期の相加平均とする。 						
○履修上の注意及びアドバイス						
<ul style="list-style-type: none"> ・単なる語句の暗記中心の学習ではなく、各時代の政治・経済・文化面を深く知り、他の時代と関連づけていくことで、時代の流れを理解・把握していく学習が大切です。 ・2年次で履修する日本史Bに向けて、世界の歴史の流れを知っておくことが重要です。 						

授業科目名	数学 I ・ A		単位数	5 単位	学年	1	
使用教科書	高校数学 I ・ 高校数学 A (実教出版)		副教材等	3ROUND 数学 I + A (数研出版)			
○学習の到達目標 教科書の例題レベルの問題を全ての生徒が解けるようになることを目標とする。また、問題演習の時間を通して積極的に取り組む姿勢を身につけ、課題等で家庭学習をしっかりと行えるようになる。							
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標			
1 学期	4	1 学期中間考査	教科書 (数学 I) 副教材	< 計算練習 > 整数、小数、分数についての四則演算ができる。 < 1 章 数と式 > 整式の展開・因数分解ができる。 方程式・不等式を解くことができる。			
	5		1 学期期末考査		< 2 章 2 次関数 > 2 次関数・2 次不等式を理解し、解くことができる。		
	6						
	7						
2 学期	9	2 学期中間考査	教科書 (数学 A) 副教材	< 4 章 図形の性質 > 三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深める。			
	10		2 学期期末考査	教科書 (数学 I) 副教材	< 3 章 三角比 > 三角比の意味、性質について理解し、それを用いて様々な値を求めることができる。		
	11				< 4 章 集合と論証 > 命題の真偽や対偶等を論理的に思考できる。		
	12		教科書 (数学 A) 副教材	< 1 章 順列と組合せ > 具体的な事象の考察を通して順列・組み合わせを理解する。			
3 学期	1	学年末考査	教科書 (数学 A) 副教材	< 2 章 確率 > 具体的な事象の考察を通して確率を理解する。			
	2						
	3		教科書 (数学 I) 副教材	< 5 章 データの分析 > データを整理、分析し、相関関係を調べることができる。			
○評価方法 定期考査 (年間 5 回実施) の成績、確認テストの成績、提出物、授業への取り組みなどを総合的に判断して評価する。							
○履修上の注意及びアドバイス 数学 I ・ 数学 A という教科は中学校で学習した内容と共有する部分を多く含んでおり、高校数学に慣れるためにも重要な科目です。 また、将来の進路が就職・進学に関わらずあらゆる試験で、対象範囲になっている科目でもあるので、しっかりと予習・復習を行い理解を深めていってください。							

授業科目名	科学と人間生活		単位数	2単位	学年	1
使用教科書	科学と人間生活（第一学習社）		副教材等	ネオパルノート 科学と人間生活（第一学習社）		
○学習の到達目標						
<p>・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p> <p>・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。</p>						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学 期	4	第Ⅰ編科学技術の発展 第Ⅱ編人間生活の中の科学 第1章 物質の科学	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・補助教材 ・プリント 	<p>・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。</p> <p>・衣料材料として用いられる代表的な天然繊維及び合成繊維の性質、食品中の主な成分である炭水化物、タンパク質及び脂質に関する性質を実験などを通して理解する。</p> <p>・熱量保存、仕事や電流による熱の発生、エネルギーの変換に関して観察、実験などを通して理解する。「エネルギーの変換と保存」については、熱機関と永久機関に関する歴史的な事項や熱が仕事に変わる際の不可逆性についても理解する。</p>		
	5	第2節 衣料と食品				
	6	1学期中間考査				
	7	1学期期末考査 第2章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用				
2 学 期	9	2学期中間考査		<p>・光合成と光、光に対する動物の行動、人の視野に関して、観察、実験などを通して理解する。「植物の生育」については、成長運動、開花について理解する。「動物の行動」については、体内時計も取り上げ、ヒトの健康と光とのかかわりについて理解を深める。</p>		
	10	第3章 生命の科学 第1節 生物と光				
	11					
	12	2学期期末考査				
3 学 期	1	第4章 地球や宇宙の科学 第1節 身近な自然景観と自然災害		<p>・地域の自然景観、その変化と自然災害に関して、観察や実験などを通して理解する。その際、自然景観が長い時間の中で変化してできたことも理解する。「自然景観の成り立ち」については、流水の作用、地震や火山活動とどのような関わりがあるのかを理解する。</p>		
	2	学年末考査				
	3					
○評価方法						
<p>各考査ごとに、考査の得点と日常の評価点（授業態度・ノート点検・確認テスト・実験及び観察のレポート等）を総合して評価を行う。1・2学期の成績は各学期の中間評価と期末評価の相加平均とし、学年総合成績は各学期成績の相加平均とする。</p>						
○履修上の注意及びアドバイス						
<p>科学技術の発展によって人間にもたらされたもの、引き起こした問題などについて学習していきます。それらの学習を通して、これからの科学と人間生活とのかかわり方について一緒に考えていきましょう。</p>						

授業科目名	体育		単位数	2 単位	学年	1
使用教科書	なし		副教材等	なし		
○学習の到達目標 各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、構成・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	・体づくり運動 ・球技選択	・デジタイマー ・ボール ・ラケット ・ホイッスル ・得点板・黒板	・集団としての行動を秩序正しく、能率的に行う。		
	5			・互いに協力して自己責任を果たす。		
	6	・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。				
	7	・体づくり運動		・体育大会の自主的な実践を通して、公正・協力・責任感の精神を養う。また、学級・学年の融和をはかり、豊玉高校生として、尚一層の意識の向上を目指す。		
2 学期	9	・体育大会 ・球技選択	・デジタイマー ・ラケット ・ホイッスル ・ボール ・CDラジカセ ・得点板・黒板 ・デジタイマー	・機敏、的確に元気よく行動する。		
	10			・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。		
	11					
	12	・マラソン大会 ・球技選択		・長距離走の特性である、忍耐力と基礎的運動能力を高め、健全明朗な精神の育成を目指す。		
3 学期	1	・体づくり運動 ・球技選択	・得点板・黒板 ・デジタイマー ・ラケット ・ボール	・集団の約束やきまりを守り行動する。		
	2			・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。		
	3					
○評価方法 評価規・基準を参考のこと						
○履修上の注意及びアドバイス 日々の授業に参加することが一番重要です。見学する場合も必ず体育服で参加し後片づけなど協力できることはすること。また、見学用紙に授業内容及び感想を記入して提出すること。						

授業科目名	保健		単位数	1 単位	学年	1
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		副教材等	なし		
○学習の到達目標 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方	教科書	・現在のわが国の健康水準について、過去との比較、諸外国との比較などを通して説明できるようになる。		
	5	・健康と意志決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり		・疾病や賞状の有無を重視する健康の考え方や生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解する。		
	6	・生活習慣病とその予防 ・食事と健康		・現代社会における健康の成立要因や条件について理解する。 ・行政や民間・国際機関などが行う様々な保健活動や対策について理解する。		
	7	1 学期期末考査		・生活習慣を予防し健康を保持増進するには適切な食事、運動休養及び睡眠など調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であることを理解する。		
2 学期	9	・運動と健康 ・休養・睡眠と健康	教科書	・喫煙、飲酒は生活習慣病の要因となり健康に影響があることを理解する。		
	10	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康		・薬物乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して様々な影響を及ぼすので、決して行ってはならないことを理解する。		
	11	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防		・感染症は時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解する。		
	12	・欲求と適応機制 2 学期期末考査		・欲求不満から生じる不安や緊張・悩みに対する適応機制の例を説明できるようになる。		
3 学期	1	・心身の相関とストレス ・ストレスへの対応 ・心の健康と自己実現	教科書	・人間の精神と身体は密接な関連をもっていることを、身体的変化が精神に及ぼす影響と精神的変化が身体に及ぼす影響との両面から理解する。		
	2	・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり		・自己実現とは何かについて理解する。 ・わが国の交通事故の特徴について、年齢や事故の様子から説明できるようになる。		
	3	・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生 ・日常的な応急手当 学年末考査		・安全な運転のために必要とされるものを説明できるようになる。 ・安全な交通社会を作るための方策について説明できるようになる。 ・応急手当の意義について説明できるようになる。 ・心肺蘇生法の原理及び手順や方法を説明できるようになる。		
○評価方法 評価規・基準を参考のこと						
○履修上の注意及びアドバイス ・自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もう！ ・定期考査は教科書・学習ノートから主に出題します。特に学習ノートの問題については、一通り解いておこう。						

授業科目名	音楽 I		単位数	2 単位	学年	1
使用教科書	ON! 1 (友社)		副教材等	高校生のつどい MUSIC NOTE		
○学習の到達目標 演奏活動を通して、お互いに協力しあう集団づくりを目指す。また、様々な活動を通して音楽への理解を深め、音楽を愛好する心情を培う。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	斉唱・合唱	校歌 混声合唱曲 鑑賞曲	<ul style="list-style-type: none"> ・発生指導 ・正確な音程で演奏する ・全員でしっかりと声を出す ・美しい声で演奏する ・美しいハーモニーをつくる ・表情豊かな演奏を目指す ・鑑賞を楽しむ知識を身につける 		
	5	鑑賞				
	6	1 学期中間考査				
	7	1 学期期末考査				
2 学期	9	独唱 鑑賞	独唱曲 鑑賞曲 器楽曲	<ul style="list-style-type: none"> ・発声指導 ・美しい声、音程で歌う ・オペラとその舞台裏についてのDVD鑑賞 ・オペラの魅力をする ・美しい音で演奏する ・表情豊かな演奏を目指す ・鑑賞を楽しむ知識を身につける ・編曲に取り組む 		
	10	2 学期中間考査				
	11	器楽演奏 創作				
	12	2 学期期末考査				
3 学期	1	鑑賞 斉唱・合唱	鑑賞 卒業式歌	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を楽しむ知識を身につける ・式歌を美しい歌声と正しい音程で歌う 		
	2	学年末考査				
	3					
○評価方法 実技テスト・筆記テスト・授業態度						
○履修上の注意及びアドバイス 合唱に取り組むには一人一人の力がとても大切です。全員で協力して、授業に取り組みましょう。音楽の様々な活動をとおして、「音楽を楽しむ力」を身につけましょう。						

授業科目名	コミュニケーション英語 I		単位数	5 単位	学年	1
使用教科書	ENGLISH NOW English Communication I (開隆堂)		副教材等	ワードマイスター3000 高校総合英語Harvest		
○学習の到達目標 自分の意見・考えを英語で表現できる(書く・話すなど)能力を身につけることを第一として、英文を読んだり聞いたりすることで論理的に内容を理解する力も身につける。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	Lesson1	ENGLISH NOW	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな科目や趣味、家族のことや出身中学のことなどを話題にして、スピーチで自己紹介をする。 短いメールを英語で作成し、ペアやグループで確認する。また、それぞれの返信も書いてみる。 ペアまたはグループで男女の会話の違いについて確認し、英語で発表する。また、話す相手や場の違いについても話し合わせる。 身の回りで文化の違いによる表現の異なるものを確認する。また、それらについてどのような印象を持つか意見を交換する。 		
	5	1 学期中間考査	ワードマイスター 3000			
	6	Lesson2, 3	高校総合英語 Harvest			
	7	1 学期期末考査 Lesson4				
2 学期	9	Lesson5, 6	ENGLISH NOW	<ul style="list-style-type: none"> 各自が「カワイイ」と思うものを取り上げ、話し合う。また、いくつかの特徴的な日本文化を取り上げ、外国人がどのように感じるかを推測する。 異なる文化によって生じる行動の違いを予測する。また、いつもと違う行動を取られるとどのように思うかを発表する。 中学・高校での職場体験の様子を話し合う。また、どのような職場体験をしてみたいか、その理由を含めて発表する。 		
	10	2 学期中間考査	ワードマイスター 3000			
	11	Lesson7	高校総合英語 Harvest			
	12	2 学期期末考査				
3 学期	1	Lesson8	ENGLISH NOW	<ul style="list-style-type: none"> スポーツで重要なことは何かについて意見を述べる。学校生活や人生で大切だと思うことについて意見を出し合う。 どのような場面で「もったいない」ということばを使うか意見を出し合う。また、世界に広まっているほかの日本語について確認する。 		
	2	学年末考査 Lesson9	ワードマイスター 3000 高校総合英語			
	3		Harvest			
○評価方法 定期考査の結果に加えて、小テスト・提出物などを点数化したものにより総合的に評価します。						
○履修上の注意及びアドバイス 教科書については、自分のわからない単語を辞書で調べ、文章の意味を把握した上で授業に臨むことを前提として授業を行いますので、しっかりと予習しておくことが必要です。また、授業で行われる単語の小テストなどについても家庭での学習を十分しておく必要があります。 週末には課題を出すこともありますので、計画的に家庭学習をする習慣を身につけておいてください。						

授業科目名	家庭基礎		単位数	2単位	学年	1
使用教科書	家庭基礎 ともに生きる 明日をつくる		副教材等	2015生活学Navi 資料+成分表		
○学習の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 ・家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。 						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	学校家庭クラブ活動について	教科書 副教材	◆ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義や方法について知る。		
	5	I 第1章 人の一生と家族		・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題を理解する中で、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たすことに関心を持ち、行動できるような態度を身につける。また、家族の意義について考え今ある家族に関する問題を理解する。		
	6					
	7	II 第1章 食生活		・現代の食生活の問題点を知り、その問題について解決する方法や知識を身につける。各食品の性質や栄養素の種類や機能を理解し、実際の食生活に活かせるようになる。 ・調理実習をとおして調理技術を身に付ける。		
		1学期期末考査				
2 学期	9	I 第3章 高齢者	教科書 副教材	・「高齢者」を、自分の将来像として考えることを通して、高齢者福祉の仕組みやあり方を理解する。また、高齢社会に求められる福祉のあり方を理解する。		
	10	I 第2章 保育		・子どもの心身の特徴や発達、子どもの生活と親の役割、遊びの意義を理解する。また、子どもを取り巻く環境と福祉について学ぶ。		
	11	II 第2章 衣生活		・自分の衣生活を見つめ直し、衣服選択、衣服管理において適切な判断ができるようになる。 ・衣服の品質表示を見て購入し、洗濯するなど、家庭での衣生活で活用できる知識を身につける。		
	12	2学期期末考査				
3 学期		II 第3章 住生活	教科書 副教材	・住居に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、安全で環境に配慮した住生活を送ることができる。		
	2	II 第4章 消費生活		・消費経済における生活情報の収集から情報の取捨選択をするために必要なことを考え、判断するための知識を身につける。		
	3	学年末考査				
○評価方法						
<p>定期考査の得点、提出物、授業態度等により総合的に評価し各学期の成績とする。</p> <p>学年総合成績は、各学期の成績の相加平均とする。</p>						
○履修上の注意及びアドバイス						
<p>家族や生活の営みを人の一生との関わりのなかでとらえ、人間として自立した生活を送ることができるよう、必要な知識や技術を身につけてほしい。さらに習得した知識や技術をよりよい実生活を送るために生かしてほしい。</p>						

授業科目名	社会と情報		単位数	2 単位	学年	1
使用教科書	高等学校 社会と情報 (第一学習社)	副教材等	社会と情報 整理と実習 (第一学習社)			
<p>○学習の到達目標</p> <p>コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理（選択・加工）・発信（伝達）するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度・情報社会に積極的に参画する態度を育てる。</p>						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学 期	4	序章 第1節 私たちの生活と情報	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・パソコン 	<p>〈授業内容〉</p> <p>パソコンおよび周辺機器の操作 文字入力の基本 ワープロソフトの操作</p> <p>〈目標〉</p> <p>情報伝達や問題解決のための一手段としての情報機器の基本操作を理解する。 パソコン室利用のルールを学習する。 情報の信憑性、発信者の意図について学習する。</p>		
	5	第2節 情報社会と私たち				
	6	のかかわり 第3節 私たちとコンピュータ				
2 学 期	9	第1章 情報活用と表現 第1節 情報のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・パソコン 	<p>〈授業内容〉</p> <p>問題解決についてのプロセスを学習する。また1つの問題の解決のために、複数の情報を収集することを学習する。情報を収集するためにインターネットを活用する。ワープロソフトを使ってのタイピングの練習。</p> <p>〈目標〉</p> <p>問題解決のプロセスにおける情報の収集において、信頼できるかどうかを判断できるようになる。レイアウトを整えた文書作成ができるようになる。</p>		
	10	第2節 情報の表現と伝達				
	11	第2章 情報通信ネットワークとコミュニケーション				
	12	第1節 コミュニケーション 手段の発達				
3 学 期	1	第2節 情報通信ネットワークのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・パソコン 	<p>〈授業内容〉</p> <p>ウェブページについて、ブラウザ、サーバ、ドメインといった語句を学習する。また、目的・対象を意識して、どのようにウェブページをレイアウトしたらよいかを考える。 名刺の作成。ビジネス文書作成。</p> <p>〈目標〉</p> <p>情報を発信するということは、そこに責任が生まれるということを意識して、内容・配置を考えるようになる。ビジネス文書実務検定3級程度の技術習得を目指す。</p>		
	2	第3節 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション				
	3					
<p>○評価方法</p> <p>提出物（実習作品など）、小テストへの取り組みおよび成績、授業態度などをもとに総合的に評価する。</p>						
<p>○履修上の注意及びアドバイス</p> <p>情報化社会がもたらした「光と陰」について正しく認識することが最も重要です。この情報化社会をよりよく生きていくための学習方法を一緒に考えていきましょう。 また、コンピュータを用いた情報の活用を学びますが、ただ単にコンピュータの操作ができることを目的とはしていません。</p>						